


ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ： <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーダイヤル

 **0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前9:00～午後6:00)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利
用はできませんのでご了承ください。



1 609 92A 0NU

1 609 92A 0NU (15.06)

バッテリーハンマードリル GBH36V-PLUS/GBH36VH-PLUS 型 GBH36VF-PLUS/GBH36VFH-PLUS 型



取扱説明書

このたびは、弊社バッテリーハンマードリルをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



目次

●安全上のご注意	
警告表示の区分	2
バッテリー工具全般についての注意事項	2
ハンマードリルについての注意事項	9
充電器についての注意事項	13
●リサイクルのために	
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください	14
●本製品について	
用途	15
各部の名称	16
仕様	17
標準付属品	18
●使い方	
バッテリーを準備する	19
作業前の準備をする	22
作業する	34
●困ったときは	
故障かな?と思ったら	41
修理を依頼するときは	42
●お手入れと保管	
作業前点検	43
使用後のお手入れ	43
保管	44

ご安全上の注意の

のリサイクルのため

の本製品について

使い方




困ったときは

お手入れと保管

安全上のご注意

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

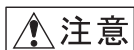
ご使用上の注意事項は 、、 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。




- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

バッテリー工具全般についての注意事項

ここでは、バッテリー工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいたバッテリーハンマードリルには、当てはまらない項目も含まれています。

1. 専用のバッテリー以外を使用しないでください。

- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
- ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。

工具本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。

2. バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。

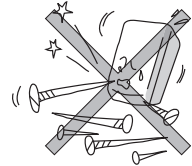


3. バッテリーにくぎを刺したり、衝撃を与えたりしないでください。

4. バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。

5. バッテリーの端子間を短絡させないでください。

- ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱やくぎ袋などに保管しないでください。



6. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管しないでください。

発熱・発火・破裂の恐れがあります。

7. 専用の充電器以外では、充電しないでください。

- ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。

バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。



警告

1. 正しく充電してください。

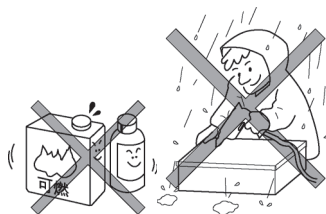
- ◆ この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆ 温度が 0℃未満、または温度が 45℃以上ではバッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

2. 感電に注意してください。

- ◆ めれた手で電源プラグに触れないでください。

3. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ バッテリー工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。



4. 保護めがねを使用してください。

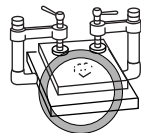
- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

5. 防音保護具を着用してください。

- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

6. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でバッテリー工具を使用できます。



7. 次の場合は、バッテリー工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。

- ◆ 使用しない、または修理する場合。
- ◆ 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。



8. 不意な始動は避けてください。

- ◆ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ バッテリーを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。

9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ◆ この取扱説明書、およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

10. バッテリーの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

11. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

12. ご使用済みの電池パックは、一般家庭ゴミとして棄てないでください。

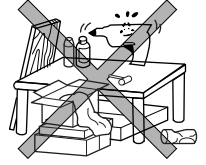
棄てられた電池パックが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。



注 意

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



2. 子供を近づけないでください。

- ◆ 作業者以外、バッテリー工具や充電器のコードに触れさせないでください。
- ◆ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
- ◆ バッテリー工具やバッテリーを、温度が 50℃以上になる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。

4. 無理して使用しないでください。

- ◆ 安全に能率よく作業するために、バッテリー工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

5. 作業に合ったバッテリー工具を使用してください。

- ◆ 小形のバッテリー工具やアタッチメントは、大形のバッテリー工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

6. きちんとした服装で作業してください。

- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

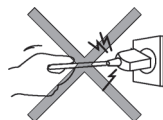


7. バッテリー工具は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。



9. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。



10. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

- ◆ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外されていることを確認してください。

11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ◆ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

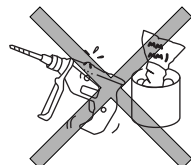
12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆ バッテリー工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。



13. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての個所に異常がないか確認してください。
- ◆ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ スイッチで始動、および停止操作のできないバッテリー工具は、使用しないでください。



14. バッテリー工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ◆ サービスマン以外の方はバッテリー工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ バッテリー工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

ハンマードリルについての注意事項

バッテリー工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、ハンマードリルをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。



警告

1. 使用するバッテリーは、取扱説明書に指定してあるものを装着してください。
 - ◆ 指定外のバッテリーを装着すると、ハンマードリル本体に支障をきたすばかりでなく、発煙・発火の原因になります。
2. 作業する個所に、電線管や水道管、ガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたときに感電したり、漏電やガス漏れが発生したりして、事故の原因になります。
3. 保護具を着用してください。必ず保護めがねをかけてください。
 - ◆ 防じんマスク、滑り止めのついた安全靴、ヘルメット、防音保護具などの適切な活用はけがの発生を低減します。
4. ネジなどが埋設された配線などに接触する恐れがある場合、電動工具の絶縁された握り部を持って作業を行ってください。
 - ◆ ネジなどが通電している配線に接触した場合、電動工具の絶縁されていない金属部にも通電し、作業者が感電する恐れがあります。
5. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。電動工具に集じん機などが接続できる場合には、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
6. 使用中に振り回されないよう、ハンマードリル本体にしっかりとサイドハンドルを取り付け、本体を確実に保持し作業してください。
 - ◆ 確実に保持しないと、けがの原因になります。

7. 使用中は、先端工具や回転部、切り粉などの排出部に、手や顔などを近づけないでください。

◆ けがの原因になります。

8. フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、ハンマードリル本体が冷めるための時間を設けてください。

◆ 複数個による連続作業は、本体に支障をきたすばかりでなく、本体の温度を上昇させて低温やけどをする恐れがあります。

9. 取扱説明書に記載されている用途、または能力以上の作業に使用しないでください。

特にモーターをロックさせるなどの無理な使用はしないでください。

◆ 発煙・発火の原因になります。

10. 使用中にハンマードリルの調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちに「電子無段変速スイッチ」を切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。

◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。

11. 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、先端工具やハンマードリル本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

12. 石綿は、人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。

13. 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。バッテリーから蒸気が発生する場合があります。

蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医者の診断を受けてください。

◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。

14. バッテリーを乱暴に扱うと液漏れが発生する場合があります。その場合、直接手で触れないでください。誤って触れた場合は水で十分洗い流してください。バッテリーの液が目に入った場合、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。
- ◆ バッテリーから漏れた液は炎症や火傷をもたらす恐れがあります。
15. 電動工具を雨や濡れた環境にさらさないでください。
- ◆ 電動工具の中に水が混入すると感電する恐れがあります。
16. 調整を行う場合や付属品の交換を行う場合、あるいは工具を保管する場合は、バッテリーを取り外してください。
- ◆ このような事前の安全対策は電動工具が不意に始動する危険性を低減します。
17. 使用しないときは、子供の手の届かない安全な場所に保管してください。また、電動工具の取り扱いや手順に不慣れな人には操作させないでください。
- ◆ 教育を受けていないひとの操作は大変危険です。
18. ハンマードリル本体を、熱源から守ってください。例えば、強い日差しの下に長時間さらしたり、火気、水気、湿気のある場所の近くに置いたりしないでください。
- ◆ 破裂する恐れがあります。
19. バッテリーを開けないでください。
- ◆ 短絡の恐れがあります。



注 意

1. 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ◆ 確実でないと外れたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - ◆ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3. 作業直後の先端工具や切り粉などは高温になっていますので、触れないでください。
 - ◆ やけどの原因になります。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - ◆ 材料やハンマードリル本体などを落としたとき、事故の原因になります。
5. 細径のビットは折れやすいので注意してください。
 - ◆ 飛散して、けがの原因になります。
6. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ◆ 事故の原因になります。
7. 保護めがねを着用してください。
コンクリートに穴あけを開始するとき、または軽破つりをするとき、コンクリートの小片が飛び散ることがあります。
コンクリートに細径の穴をあける際、急に切り粉が勢いよく噴き出すことがあります。
 - ◆ けがの危険性を低減できます。
8. 安全のため、ヘルメットおよび安全靴、騒音からの保護のため、耳栓をしてください。

ここでは、充電器をお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。



警 告

1. 電源プラグに合った電源コンセントを使用してください。
電源プラグの改造は、絶対に行わないでください。
アース回路付電動工具の電源プラグには、いかなるアダプターも取り付けしないでください。
 - ◆ 純正電源プラグに適合した電源コンセントを使用しないと、感電の恐れがあります。
2. パイプ、ラジエーター、レンジ、冷蔵庫など、接地処理された媒体と身体が接触するのを避けてください。
 - ◆ 身体が接触すると、感電する恐れがあります。
3. 電源コードは乱暴に扱わないでください。
コードを使って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。
コードを熱、油、角のとがった場所、また可動部に近づけないでください。
 - ◆ コードが損傷したりもつれたりしていると、感電の恐れがあります。
4. やむを得ず、湿気が多い場所で充電器を使用する場合は、漏電遮断器（RCD）を設置して給電してください。
 - ◆ 漏電遮断器の設置で、感電する危険が低減されます。

リサイクルのために

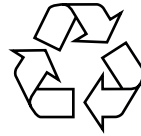
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

のリ
サイ
クル
に
ル

ポツシュは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みバッテリー工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ポツシュ電動工具取扱店、ポツシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】




Li-ion

この電動工具は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、電動工具本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出してください。

本製品について

用途

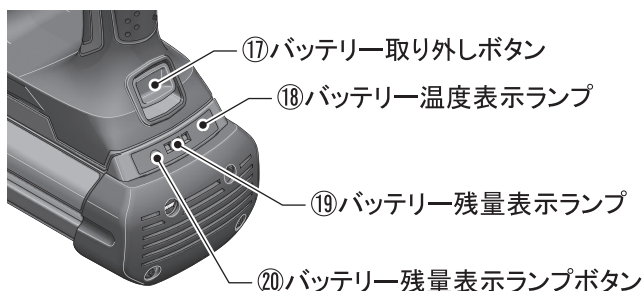
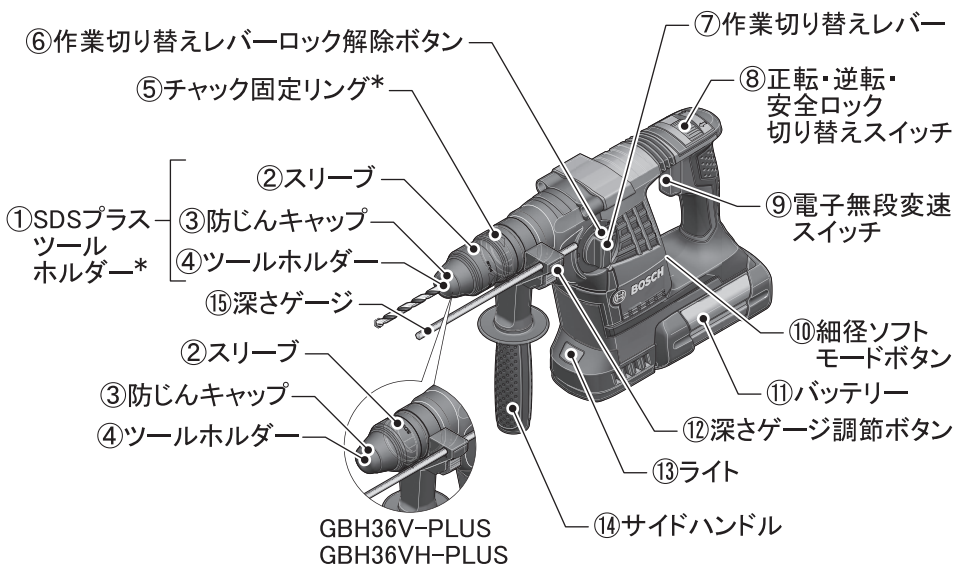
- ◆ コンクリートや石材、レンガなどの穴あけ
- ◆ 木材、金属、プラスチックなどの穴あけ
- ◆ コンクリートや石材などの軽度の破つり（こわし、タイルはがし等）
- ◆ ネジの締め・緩め

 ライト⑫の灯りは、作業を行う個所を照らすもので、家庭用の部屋の照明には適しません。

本
製
品
に
て

各部の名称

本
製
品
に



*GBH36VF-PLUS/GBH36VFH-PLUSのみ

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

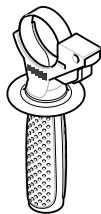
仕様

本体

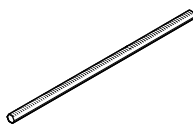
型番	GBH36V-PLUS GBH36VH-PLUS	GBH36VF-PLUS GBH36VFH-PLUS
定格電圧	DC 36V	
消費電力（入力）	600 W	
回転数（無負荷時）	正転	0~940 min ⁻¹ （回転/分）
	逆転	0~930 min ⁻¹ （回転/分）
打撃数（無負荷時）	0~4200 min ⁻¹ （回/分）	
衝撃エネルギー	3.2 J (EPTA プロシージャ 05/2009 に準拠)	
サイドハンドル取り付け部径	50 mmφ	
穴あけ能力（最大径）		
コンクリート		
SDSプラスビット使用時	28 mm	
コア使用時	80 mm	
鉄工	13 mm	
木工	30 mm	
質量（バッテリーを含む）	4.5 kg	4.6 kg
	(EPTA プロシージャ 01/2014 に準拠)	
充電可能温度範囲	0°C~+45°C	
使用/保管可能温度範囲	-20°C~+50°C	
振動 3軸合成値		
ハンマードリル時	14.5 m/s ²	
	(EN60745-2 規格に基づき測定)	
原産国	ドイツ	
リチウムイオンバッテリー		
電圧	36 V	
容量	4.0 Ah	

つ本
製
い
品
てに

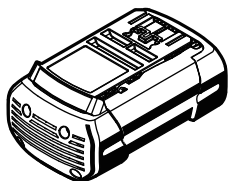
標準付属品



サイドハンドル



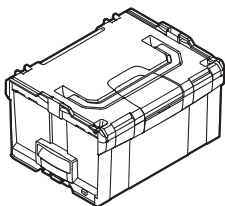
深さゲージ



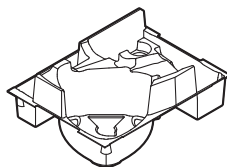
リチウムイオンバッテリー
4.0 Ah (2個)



充電器



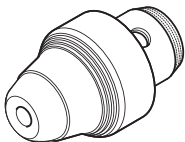
キャリングケース
(L-BOXX238)



L-BOXX インレイ

GBH36VF-PLUS/GBH36VFH-PLUS 型のみ

GBH36VF-PLUS/GBH36VFH-PLUS 型のみ



SDSプラスツールホルダー



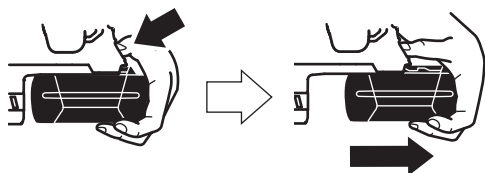
クイックリリースキーレスチャック

本
製
品
に

使い方

バッテリーを準備する

● 取り外す



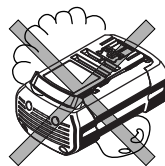
1. 「バッテリー取り外しボタン⑰」を押します。
バネによって、バッテリー⑱が一段飛び出します。
☞ バッテリー⑱は二重ロックになっているため、一段飛び出して止まりません。
2. 再度、「バッテリー取り外しボタン⑰」を押し、保持したままバッテリー⑱を完全に引き抜きます。

☞ 本機は、「バッテリー取り外しボタン⑰」を押しても、バッテリー⑱が外れないよう、バッテリー⑱の取り付けが二重ロックになっています。

使
い
方

● 点検する

- バッテリーは弊社指定のものか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか？
- バッテリー端子が傷んでいたたり、汚れていたりしていないか？
- バッテリーは十分に充電されていて、消耗していないか？




● 充電する




警告

- ◆ 破損防止のため、弊社指定の充電器を使って、バッテリー⑪を充電してください。
- ◆ バッテリー⑪が熱くなっているときは、冷えてから充電してください。

 充電しても極端に作業時間が短い場合は、バッテリー⑪が消耗しています。バッテリー⑪を交換してください。

1. 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
充電器の表示ランプ(緑)が点灯します。
2. 充電するバッテリー⑪を充電器のバッテリー挿入口に差し込みます。
急速充電が開始され、表示ランプ(緑)が点滅します。
バッテリー⑪がフル充電状態のとき、表示ランプ(緑)は点灯したままになります。その場合、充電の必要はありませんので、バッテリー⑪を抜き取ってください。

 バッテリーが熱くなりすぎたり、逆に冷えすぎている場合、充電器の表示ランプ(赤)が点灯し、充電を開始しません。バッテリーが適正温度(0~45℃)になった時点で、充電器は自動的に急速充電を開始します。
ただし、熱くなりすぎたバッテリーは、できるだけ冷めてから充電を行うようにしてください。

充電が80%に達すると、表示ランプ(緑)の点滅が遅くなります。
充電が完了すると、表示ランプ(緑)は点灯状態に戻ります。

3. 充電が完了したら、バッテリー⑪をバッテリー挿入口から抜き取ります。
4. 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜き取ります。

バッテリーの表示

充電中、バッテリー残量表示ランプ⑱の3つのランプは点灯・消灯を繰り返します。

満充電になると、バッテリー残量表示ランプ⑱の3つのランプは連続点灯します。

充電が完了してから5分経過すると、バッテリー残量表示ランプ⑱は消灯します。

充電器にバッテリー⑪を差し込んだときに、バッテリー温度表示ランプ⑲が点灯する場合は、バッテリー⑪の温度が充電可能温度範囲（0～45℃）の範囲外であるため充電することができません。

バッテリー⑪の温度が充電可能温度範囲になるまで、バッテリー⑪は充電されません。

● サイドハンドルを取り付ける・取り外す



警告

- ◆ けがの発生を防ぐため、サイドハンドル⑭を取り付けたり取り外したりするときは、バッテリー⑪をハンマードリル本体から取り外してください。

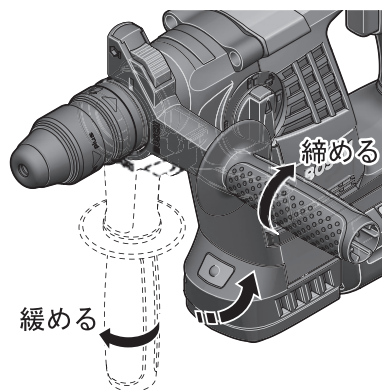


注意

- ◆ 取り付けるときは、スリーブ②に触れないよう、しっかりと奥まで差し込んでください。接触した状態で固定すると、スリーブ②が損傷します。

取り付け

1. サイドハンドル⑭のグリップ部分を矢印の方向に回して、締め付けバンドを緩めます。
2. ハンマードリル本体にサイドハンドル⑭を差し込みます。
3. サイドハンドル⑭を回して、作業に適した位置に合わせます。



4. 締め付けバンドが、奥まではまっていることを確認します。
5. サイドハンドル⑭のグリップ部分を矢印の方向に回して、締め付けベルトをしっかりと締めます。
この際、ガタつきがないか確認してください。



作業に適した位置にサイドハンドル⑭を固定すると、作業中に安定した姿勢が取れ、疲労を減らすことができます。


取り外し

1. サイドハンドル⑭のグリップ部分を時計方向に回して、締め付けベルトを緩めます。
2. ハンマードリル本体からサイドハンドル⑭を抜き取ります。

● 先端工具を選ぶ

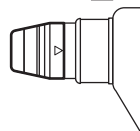
SDSプラスシャンクの先端工具

SDSプラスビット



コンクリートなどの穴あけ


GBH36V-PLUS型
GBH36VH-PLUS型



ストレートシャンクの先端工具

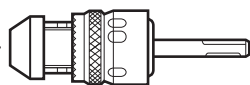
使
い
方

振動ドリルビット



コンクリートなどの穴あけ


別売




SDSプラス13mm
ハンマーチャック

ドリルビット

鉄工用



木工用



木材、金属などの穴あけ

別売



SDS回転チャックセット

GBH36VF-PLUS型
GBH36VFH-PLUS型



SDSプラス
ツールホルダー



クイックリリース
キーレスチャック

● SDS プラスシャンクの先端工具を取り付ける・取り外す



警告

◆ けがの発生を防ぐため、先端工具を取り付けたり取り外したりするときは、バッテリー⑪をハンマードリル本体から取り外してください。



注意

◆ 穴あけ直後の先端工具は高温になります。冷たくなってから、先端工具を取り外してください。

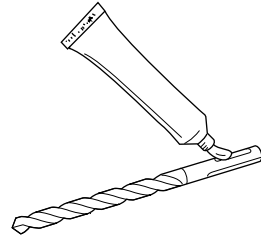
◆ 先端工具は、刃先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、手袋を着用して扱ってください。

◆ 本体の故障を防ぐために、防じんキャップ③に異常がないか確認してください。損傷がある場合は交換が必要です。

(「修理を依頼するときは」を参照してください)

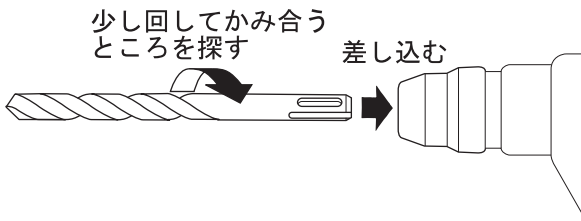
取り付け

1. 先端工具の挿入部分を清掃し、グリスを塗ります。



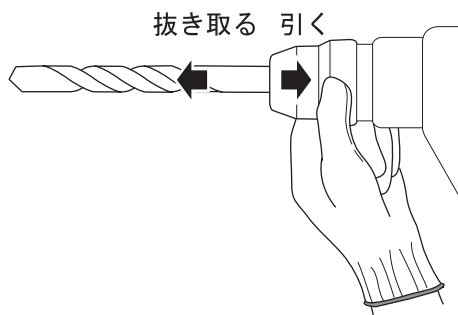
使
い
方

2. 先端工具を取り付け孔に差し込み、少し回してかみ合うところを探します。
3. かみ合ったところで、さらに深く差し込み固定します。
4. 確実に取り付けられたかどうか、先端工具を引っ張り、抜けないことで確認します。



取り外し

1. スリーブ②を後方へ引きながら、先端工具を抜き取ります。



● チャックを交換する（GBH36VF-PLUS/GBH36VFH-PLUS 型のみ）

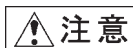
SDSプラスツールホルダー①をクイックリリースキーレスチャック⑬に交換すると、SDSプラスシャンク以外の先端工具（市販のストレートシャンクのビットやドライバービットなど）が使用できます。

使
い
方



警告

- ◆ けがの発生を防ぐため、チャックを交換するときは、バッテリー⑪をハンマードリル本体から取り外してください。

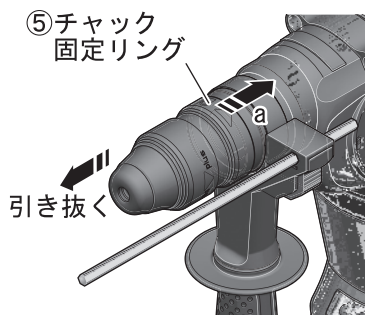


注意

- ◆ けがををする恐れがありますので、SDSプラスツールホルダー①またはクイックリリースキーレスチャック⑬に取り付けてある先端工具を取り外してから、SDSプラスツールホルダー①またはクイックリリースキーレスチャック⑬を取り外してください。

取り外し

1. チャック固定リング⑤を a の方向にスライドさせたまま、SDSプラスツールホルダー①またはクイックリリースキーレスチャック⑬を引き抜きます。



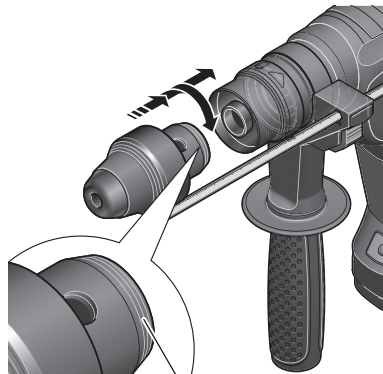
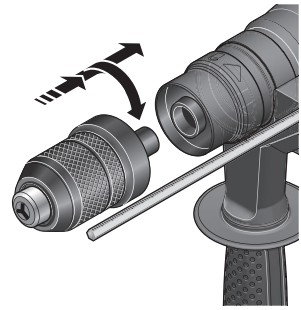
取り付け

1. SDS プラスツールホルダー①またはクイックリリースキーレスチャック⑯をしっかりと保持し、カチッと音がするまでスピンドルに押し込みます。

☞ 少し回しながら押し込むと簡単に入ります。

2. SDS プラスツールホルダー①またはクイックリリースキーレスチャック⑯を引っ張り、確実に取り付けられていることを確認します。

☞ SDS プラスツールホルダーを取り付けるときは、識別溝が2本または3本のものをご使用ください。



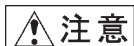
識別溝
(2本または3本)

● クイックリリースキーレスチャック⑩に先端工具を取り付ける・取り外す



警告

◆ けがの発生を防ぐため、先端工具を取り付けたり取り外したりするときは、バッテリー⑪をハンマードリル本体から取り外してください。




注意

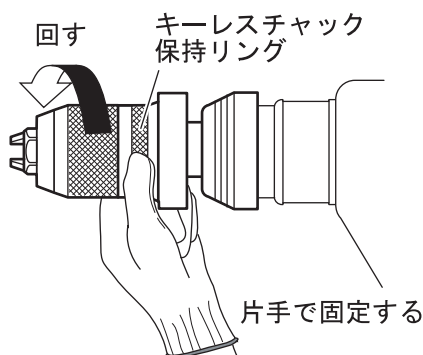
◆ 穴あけ直後の先端工具は高温になります。冷たくなってから、先端工具を取り外してください。

◆ 先端工具は、刃先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、手袋を着用して扱ってください。

取り付け

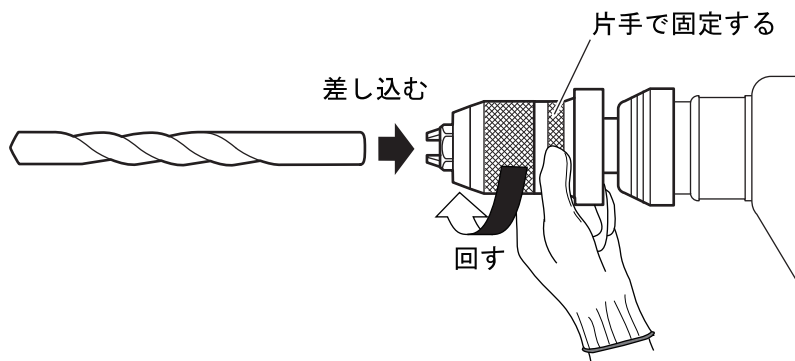
 クイックリリースキーレスチャック⑩は打撃が先端工具に伝わらない構造になっているため、振動ドリル用先端工具は使用できません。

1. クイックリリースキーレスチャック⑩のキーレスチャック保持リングを片手で固定しながら、前のリングを矢印の方向に回してチャックのつめを緩めます。



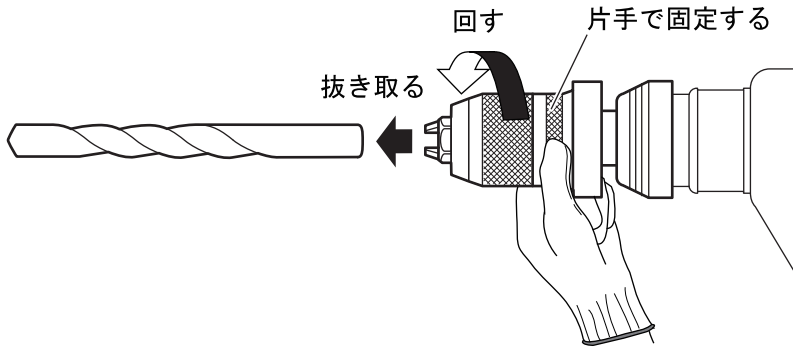
2. 先端工具をチャックに差し込みます。

3. キーレスチャック保持リングを片手で固定しながら、前のリングを矢印の方向に回してチャックのつめを締めます。



取り外し

1. クイックリリースキーレスチャック⑩のキーレスチャック保持リングを片手で固定しながら、前のリングを矢印の方向に回してチャックのつめを緩めます。
2. チャックから先端工具を抜き取ります。



■別売アクセサリを使用する (SDSプラスツールホルダー装着時)

別売アクセサリのSDS13mmハンマーチャックまたは13mm固定チャック+SDS回転チャックアダプターを使用すると、市販のストレートシャンクの先端工具が使用できます。

別売アクセサリをハンマードリル本体へ取り付けるときは、SDSプラスシャンクの先端工具の取り付けと同様に行います。(25ページ参照)

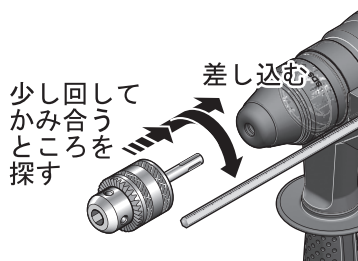
別売アクセサリの使用方法は、それぞれに付属する説明書をお読みください。

● SDS 回転チャックセット（別売）を取り付ける・取り外す

ストレートシャンクドリルの先端工具を使用するときは、別売アクセサリーのSDS回転チャックを取り付けてください。

取り付け

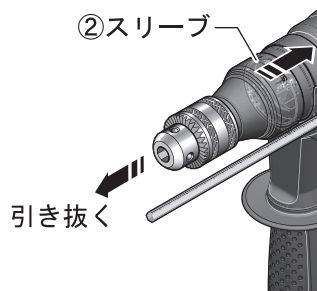
1. キーチャックの挿入部分を清掃し、グリスを塗ります。
2. キーチャックを本体の取り付け孔に差し込み、少しかみ合うところを探します。
3. かみ合ったところで、さらに深く差し込みます。
4. 確実に取り付けられたか、キーチャックを引っ張り、抜けないことで確認します。



使
い
方

取り外し

1. スリーブ②を矢印の方向にスライドさせたまま、キーチャックを引き抜きます。



● キーチャックに先端工具を取り付ける・取り外す

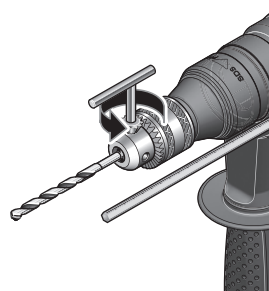
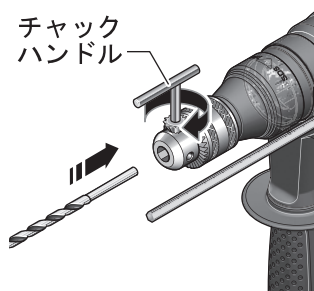
取り付け

1. キーチャックが取り付けられているか、確認します。

2. チャックハンドルをキーチャック外周にある穴に差し込み、矢印の方向に回してチャックを緩めます。

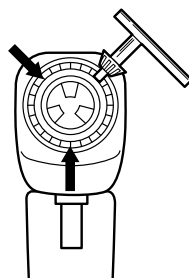
3. 先端工具をチャックに差し込みます。

4. チャックハンドルをキーチャック外周にある穴に差し込み、チャックハンドルを矢印の方向に回して、チャックを締めます。

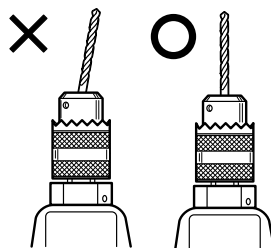


使
い
方

キーチャック外周にはチャックハンドルを差し込む穴が3つあります。3か所で均等に締めてください。3か所で締めないと、先端工具のつかみ具合が不十分になります。

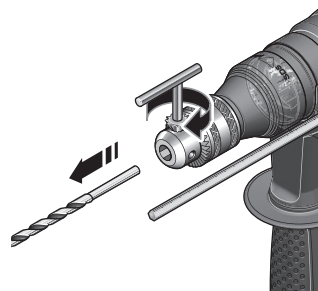


5. キーチャックのつめが先端工具を均等につかんでいることを確かめます。



取り外し

1. チャックハンドルをキーチャック外周にある穴に差し込み、チャックハンドルを矢印の方向に回してチャックを緩めます。
2. キーチャックから先端工具を抜き取ります。



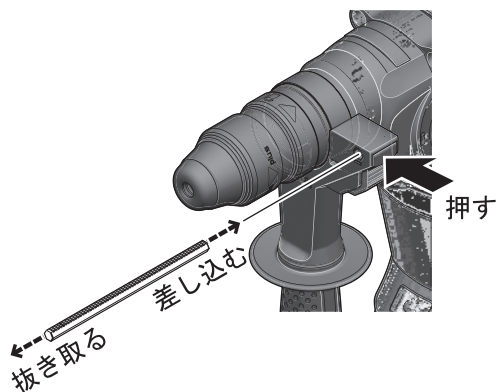
● 深さゲージを取り付ける・取り外す

取り付け（穴あけ作業時に役立つ）

1. 「深さゲージ調節ボタン⑫」を押しながら、深さゲージ⑮を差し込みます。
 - ☞ 深さゲージ⑮のギヤ部分をサイドハンドル⑭のグリップ方向（下向き）に合わせて取り付けてください。
 - ☞ 取り付け後、先端から押し込んで動かない事を確認してからご使用ください。

取り外し

1. 「深さゲージ調節ボタン⑫」を押しながら、深さゲージ⑮を抜き取ります。






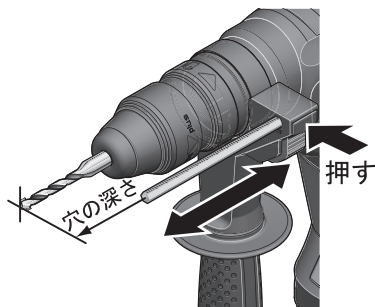
警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー⑪を取り付ける前に、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」が“安全ロック（中央）”の位置になっていることを確認してください。

1 深さゲージを調節する（穴あけ作業時）

1. 「深さゲージ調節ボタン⑫」を押しながら、あけたい穴の深さに合わせて深さゲージ⑬を動かします。



 ドリルビットをツールホルダーの後方に押し込んで、あそびのないことを確認してください。

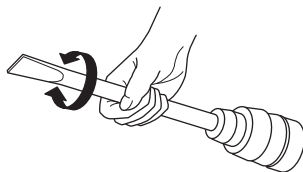
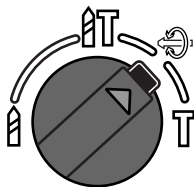


2. 位置決めが終わったら、「深さゲージ調節ボタン⑫」から指を離します。

使
い
方

2 破つり用先端工具の作業位置をセットする（破つり作業時）

1. 「作業切り替えレバーロック解除ボタン⑥」を押しながら、「作業切り替えレバー⑦」を  の位置に合わせます。
2. 先端工具を回転させ、作業する場所や向きに合わせます。「作業切り替えレバー⑦」を  の位置にすると先端工具は固定されます。



3 「作業切り替えレバー⑦」を作業に合わせた位置にしっかりと切り替える（下図参照）

「作業切り替えレバーロック解除ボタン⑥」を押しながら「作業切り替えレバー⑦」を切り替えてください。

☞ “カチッ”と音がして、「作業切り替えレバー⑦」が正しくセットされたことを確認してください。

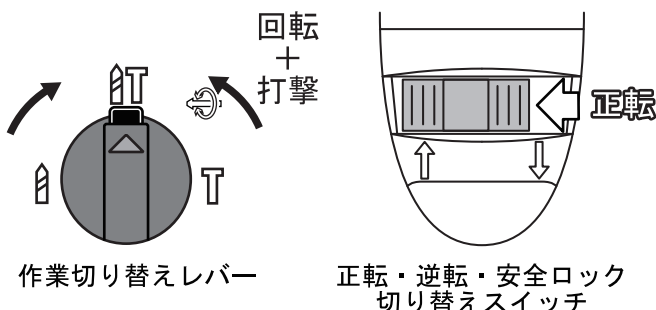
- 注意** ◆ 本体の損傷を防ぐため、モーターの回転が止まった状態で、「作業切り替えレバー⑦」を切り替えてください。
「電子無段変速スイッチ⑨」を引き込んでいるとき、「作業切り替えレバー⑦」は切り替えしないでください。

4 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」を切り替える

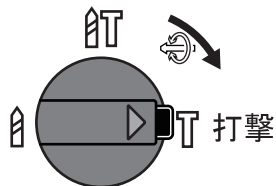
- 注意** ◆ 本体の損傷を防ぐため、モーターの回転が止まった状態で、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」を切り替えてください。「電子無段変速スイッチ⑨」を引き込んでいるとき、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」は切り替えしないでください。

使
い
方

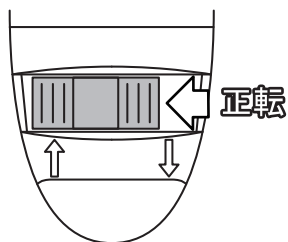
コンクリートや石材、レンガなどの穴あけ



破つり



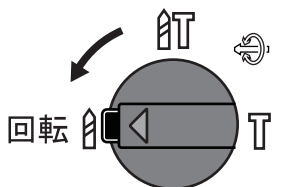
作業切り替えレバー



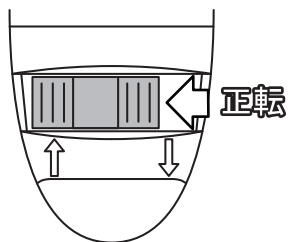
正転・逆転・安全ロック
切り替えスイッチ

木材、金属、プラスチックなどの穴あけ

ネジ締め

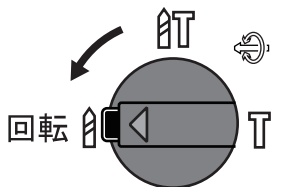


作業切り替えレバー

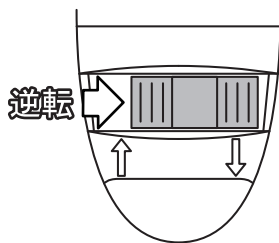


正転・逆転・安全ロック
切り替えスイッチ

ネジ緩め



作業切り替えレバー



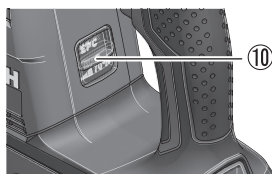
正転・逆転・安全ロック
切り替えスイッチ

5 「細径ソフトモードボタン⑩」を切り替える

本機には細径ソフトモード（EPC）がついてあります。

細径ソフトモード（EPC）を使用するとソフトスタートになり、最大打撃数も70%に抑えられます。

細径ビットの破損を抑えることができます。



⑩細径ソフトモードボタン



仕様に記載されている最大打撃数で作業できます。



ソフトスタートになり、最大打撃数も仕様に記載されている最大打撃数の70%に抑えられます

ふち欠けの起こりやすい材料（タイルなど）や、細径ビットを使用した穴あけ作業時に、ビットの破損リスクを減らすために適したモードです。

6 ハンマードリル本体にバッテリー⑪を取り付ける

バッテリー⑪を、ハンマードリル本体のバッテリーの差し込み口にカチッと音がするまで押し込みます。

バッテリー充電状態表示

バッテリー⑪の充電状態をバッテリー残量表示ランプ⑱で、確認することができます。

「バッテリー残量表示ランプボタン⑳」を押すと、バッテリー残量表示ランプ⑱が点灯します。

バッテリー残量表示ランプ⑱は5秒間点灯後、自動的に消灯します。

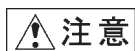


⑱バッテリー残量表示ランプ

⑳バッテリー残量表示ランプボタン

バッテリー残量表示ランプ	バッテリー容量
3つ点灯	2/3 以上
2つ点灯	1/3 以上
1つ点灯	1/3 未満
1つ点滅	要充電

- ☞ 「バッテリー残量表示ランプボタン⑳」を押しても、バッテリー残量表示ランプ⑲が1つも点灯しないときは、バッテリー⑪が損傷しています。バッテリー⑪を交換してください。
- ☞ 充電状態は、バッテリー⑪を取り外していても確認できます。



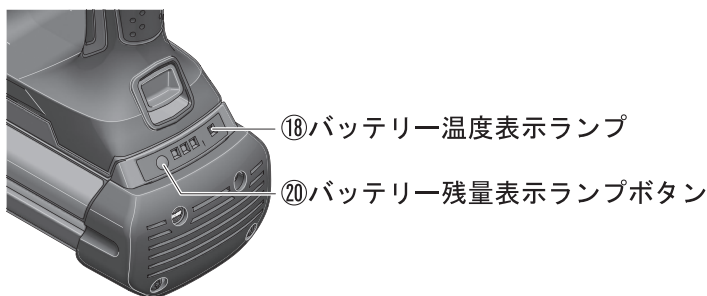
注意

◆ バッテリー⑪の充電状態を確認するときは、必ず本体の作動を停止させてください。
先端工具を回転させたまま確認すると、けがの原因になります。

バッテリー温度モニタ

バッテリー温度表示ランプ⑱は、バッテリー⑪またはバッテリーを装着した本体が最適な温度範囲内にあるかどうかを知らせます。
温度が高すぎると、本体は本来の能力を発揮しない場合があります。

「バッテリー残量表示ランプボタン⑳」を押したときに、バッテリー温度表示ランプ⑱が点灯する場合は、バッテリー⑪の温度が作業可能温度（-10～60℃）の範囲外です。
温度が60℃を越すと、最適温度範囲に下がるまでバッテリー⑪は使用できません。

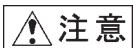


7 「電子無段変速スイッチ⑨」を操作する



警告

◆ 作業中に振り回されないよう、ハンマードリル本体にサイドハンドル⑭を取り付けてください。両手で本体のグリップとサイドハンドル⑭をしっかり保持し、作業してください。



注意

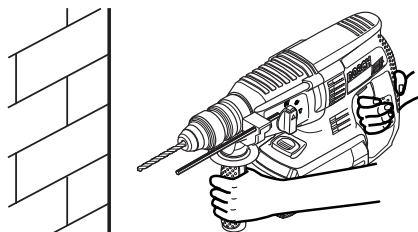
- ◆ 作業時、ハンマードリル本体は軽く押すだけで十分です。必要以上に強く押しつげると、先端工具を傷めて作業効率下がったり、本体が故障したりします。
- ◆ 穴あけ直後の先端工具は高温になります。やけどを負う恐れがありますので、触れないでください。
- ◆ 長いネジを締めるときは、ドライバービットがネジから外れないように注意してください。
- ◆ 先端工具が材料に引っ掛かったり、斜めに進んだりすると、過負荷クラッチの働きにより回転が止まります。ハンマードリル本体の損傷を防ぐため、先端工具を引き抜く前に本体を先端工具から取り外してください。

「電子無段変速スイッチ⑨」を引き込んだときに、バッテリー温度表示ランプ⑱が点灯する場合は、本体の温度が75℃以上になっています。本体の温度が作業可能温度範囲内に下がるまで、本体は使用できません。

使
い
方


穴あけ

1. 先端工具を材料に当てます。
2. 「電子無段変速スイッチ⑨」を引き込みます。



- ☞ 「電子無段変速スイッチ⑨」の引き込む加減で、回転数・打撃数が調節できます。
- ☞ 止めるときは、「電子無段変速スイッチ⑨」から指を離してください。ブレーキの働きにより、あけ過ぎを防ぎます。このとき、通風口内から火花が発生する場合がありますが、異常ではありません。

ネジ締め

1. 先端工具をネジ頭の溝に合わせます。
2. 「電子無段変速スイッチ⑨」を引き込みます。
 「電子無段変速スイッチ⑨」の引き込む加減で、回転数が調節できます。

キックバック防止機能（ERC）

本機にはキックバック防止機能（ERC）がついております。

内蔵された加速度センサーがキックバックの可能性を感知した場合、瞬時にモーターを停止し、キックバックを回避します。

キックバック防止機能が働くと、ライト⑬が点灯します。

一度「電子無段変速スイッチ⑨」から指を離し、再度「電子無段変速スイッチ⑨」を引き込むと、再起動できます。


困ったときは

故障かな？と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直します。
- ③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	原 因	対 処
「電子無段変速スイッチ⑨」を引き込んでも、回らない	バッテリー⑪が取り付けられていない	バッテリー⑪を取り付ける
	バッテリー⑪が消耗している	バッテリー⑪を充電するか、交換する
	バッテリー⑪の温度が60℃を越えている	バッテリー⑪が最適温度範囲内に下がるまで待つか、交換する
	本機の温度が90℃を越えている	許容操作温度範囲内に下がるまで待つ
「電子無段変速スイッチ⑨」が引き込めない	「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」が“安全ロック”または、中途半端な位置になっている	“正転”か“逆転”の位置にしっかりと切り替える
穴あけなどに時間がかかる（穴があかない）	先端工具が摩耗している	先端工具を研磨するか、交換する
	バッテリー⑪が消耗している	バッテリー⑪を充電するか、交換する
	「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」が“逆転”の位置になっている	「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」を“正転”の位置に切り替える
充電しても、フル充電しない。または、フル充電しても、使用時間が短い	バッテリー⑪の寿命が尽きた	バッテリー⑪を交換する

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーダイヤル  0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00~午後6:00

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。

コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代 39

TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野 741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

お手入れと保管

バッテリーハンマードリルを末永く、また安全にお使いいただくために作業前点検と作業後のお手入れをしていただき、保管していただくことをお勧めいたします。



警告

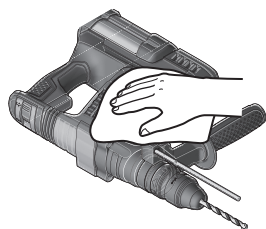
◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー⑪をハンマードリル本体から取り外し、点検、お手入れしてください。

作業前点検

- SDSプラスツールホルダー①、クイックリリースキーレスチャック⑫が本体に確実に装着されているか？
- SDSプラスツールホルダー①、クイックリリースキーレスチャック⑫に先端工具が確実に装着されているか？
- 「電子無段変速スイッチ⑨」、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」は正常に作動するか？
- サイドハンドル⑭、深さゲージ⑮は、確実に取り付けられていて、ガタつきはないか？
- 充電器の電源プラグ、コードが破損していないか、また何らかの損傷を受けていないか？
- バッテリー⑪が本体に確実に装着されているか？
- バッテリー⑪から液漏れが発生していないか、またバッテリー端子が傷んだり、汚れたりしていないか？

使用後のお手入れ

- 通風口やスリーブ②などに付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす
- 乾いた布、柔らかい布で本体、バッテリー⑪の汚れをふき取る
変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。
- 「バッテリー取り外しボタン⑰」やバッテリー装着部分についたゴミ、ホコリなどを吹き飛ばす
- ツールホルダー④の先端工具挿入部分を清掃する



保
お
手
入
れ
と
保
管

● ハンマードリルを使った後は、バッテリーを取り外し、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、バッテリー①は 50℃以上になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼ってください。

